

第49回 もも脳ネット 理事会（コアメンバー会議） 議事録

日時：2022年12月6日（火）18：30～20：00

場所：WEBにて開催

出席者：岡山医療センター（奈良井医師、田中 MSW）

岡山赤十字病院（岩永医師、田村 MSW、常長事務）

岡山光南病院（宮森医師、平川 MSW）

岡山リハビリテーション病院（鼠尾医師）

岡山旭東病院（片岡 PT、片岡 MSW、細谷事務）

岡山ろうさい病院（足立医師、福島管理栄養士）

岡山市立市民病院（渡邊医師、梅田看護師）

岡山市歯科医師会（中山医師）

かどや歯科医院（角谷医師）

あいの里クリニック・歯科（山本医師）

岡山県介護支援専門員協会（丸田 CM）

岡山県歯科衛生士会（中山歯科衛生士）

備前保健所保健課地域保健班（東原氏）

川崎医科大学総合医療センター（井上医師、鈴木 MSW、石山 MSW、桑田 MSW、池田 MSW）

計 14 設 26 名（敬省略・順不同）

議 事

1. 脳卒中地域連携普及推進強化事業について

2022年度の幹事病院である川崎医科大学総合医療センターより下記報告を行った。

- ・ 多職種研修会として2022年度もも脳ネット連携フォーラムを2023年2月4日（土）13：30～16：00「脳卒中の口腔健康管理」をテーマに開催予定である。第一部は、あいの里クリニック・歯科（山本医師）、かどや歯科医院（角谷医師）、岡山県歯科衛生士会、岡山済生会総合病院（摂食・嚥下認定看護師）、川崎医科大学総合医療センター（言語聴覚士、管理栄養士）より講演を行い、第二部は「脳卒中の口腔健康管理」についてシンポジウムを予定している。
- ・ 市民への啓発活動については、クリアファイル（表面：家族等の緊急連絡記載欄、裏面：脳卒中早期発見チェック項目）の作成を進めている。今後は作成でき次第、もも脳ネット参加機関へ配送し、各機関より患者お及び地域住民等へ配布していただく予定である。
- ・ 地域連携パスの改定を進めていく予定となっているため、修正箇所の要望についてのご意見を聞かせていただきたい。改めて聞き取りのお知らせを送らせてもらう予定である。

2. 地域連携パスの情報共有の方法について

川崎医科大学総合医療センターより下記報告を行った。

- ・ 現在、地域連携パスの情報共有のツールとして、晴れやかネット拡張機能（ケアキャビネット）とCD-ROMのどちらかを使用している。
- ・ 2023年4月をもって、晴れやかネットのサービスが終了することとなり、岡山県より今後はどの情報共有システムツールを使用するかについて問い合わせがきている。ただし、ケアキャビネット機能は

残存するため、新たにケアキャビネットに加入することにより、今までと同様に使用することができる。

上記について、下記意見がでたため、現在もケアキャビネット機能を利用して地域連携パスの情報共有を行っている医療機関へ判断をゆだねることとなった。なお、既に、CD-ROMのみで運用している医療機関については従来通りとすることになる。

- ・ 情報共有システムの使用を継続するならば、導入費用が不要なケアキャビネットを使用するのがよいのではないか。
- ・ システム料の負担をもも脳ネットで請け負うのは難しいため、情報共有システムを継続して使用するか、CD-ROMのみの運用にするかを検討する必要があるのではないか。

3. その他

1) .身体障害者手帳の診断書について

回復期病院より身体障害者手帳の診断書について下記の確認事項があった。

- ・ 回復期病院でフォローしている患者より、しばしば身体障害者手帳の診断書の作成依頼があるが、種別によっては院内で身体障害者手帳の診断書を記載できる医師がいない場合がある。その場合に、紹介元の急性期病院へ診断書作成の相談を行うのだが、お断りされるケースもある。各病院ではどのような対応になっているのか教えてもらいたい。

各病院より下記の回答があった。

- ・ 1 度の受診だけでは評価が難しいことが多く、適切に診断書作成ができないことがあるため、受診をお断りするケースもある。
- ・ 急性期病院では、紹介医へまず相談をしてもらい、紹介医から他科へコンサルテーションを行うことでスムーズに受診に繋げることができる可能性もある。
- ・ 急性期病院への受診相談はまず紹介医へ直接電話相談をもらった方がよいのではないか。

2) .多職種連携の研修会、情報共有ツールについて

岡山県介護支援専門員協会より情報提供があった。

- ・ 岡山県介護支援専門員協会主催にて多職種連携の研修会として、2023年1月27日（金）に「機能訓練・口腔・栄養の取り組みについて」をテーマにてオンラインで開催予定である。演者を川崎医科大学総合医療センターの管理栄養士、理学療法士、言語聴覚士に依頼している。
- ・ 「医療と介護の連携促進のための草の根事業」にて医療と介護の連携についてワーキングを定期的に行っている。前回のワーキングにて「デイサービスで本人の状態を記載している連絡帳が外来受診時に役にたっている」と医師から意見があった。今後、デイサービスの連絡帳が本人の普段の状況を伝えていくツールとしてどこまで活用できるのか検証していく予定である。また、ケアマネジャーへデイサービスの連絡帳が情報共有ツールとしても活用できることを発信していく予定である。

【今後の会議日程】

- ・ もも脳ネット運用会議（運用総会）

日時：開催未定

- ・ 理事会

日時：2023年2または3月に開催検討（オンライン）

（書記 川崎医科大学総合医療センター：桑田）